

厚生労働省ネットワーク (共通システム) 最適化事業

平成23年9月

大臣官房統計情報部企画課情報企画室(川上一郎室長) [担当]

全部局 [関連]

1. 施策体系上の位置づけ

評価対象事業は下図の網掛け部分に位置付けられる。

基本目標Ⅵ 「新しい公共」の実現、成長戦略の中核としての社会保障の展開（未来への投資）等時代の要請に応える			
施策大目標分野	1	2	3
	を障と成成長展 展開及びび長略 する雇用政策の中核	進分国規 める担と制 ののの 見直見直 ししし	化術国 にの際 対の振化 応興、科 すI学 るT技

施策中目標

1	電子政府実現に向けて基盤を整備する
---	-------------------

施策小目標

1	全体最適を目指した業務・システム最適化を推進すること
---	----------------------------

2. 現状・問題分析

「電子政府構築計画」（平成15年7月17日各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議決定。平成16年6月14日一部改定）において、各府省は「共通システムの見直し方針」（2004(平成16年)3月25日 行政情報システム関係課長連絡会議了承）（以下、「共通見直し方針」という。）に基づき、府省内ネットワークの最適化計画を策定し、見直しを進めることとされた。

当省においては、上記方針に基づき、「厚生労働省ネットワーク（共通システム）最適化計画（2005年（平成17年）5月27日厚生労働省行政情報化推進会議決定）を策定し、事業を推進しているところである。

3. 事業の内容

(1) 実施主体

国、地方厚生局、都道府県労働局（労働基準監督署、公共職業安定所、雇用均等室）、検疫所

(2) 概要

「共通見直し方針」に基づき、府省内ネットワークの集約化、共有化を実施し、府省内の LAN で運用する電子メールシステム、電子掲示板等の基本システムを統一化するとともに、LAN の運用管理業務の集中化を図るものである。

※参考：厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/sinsei/torikumi/03/index.html>

(3) 事業計画期間

平成 17 年度 ～ 平成 24 年度

(4) 予算

会計区分：一般会計

H20	H21	H22	H23	H24
1 6 5	1 3 2	1 3 5	4 9 1	9 4

(5) 予算執行の弾力化措置

国庫債務負担行為 ・ 繰越明許費 ・ 目間流用の弾力化 ・ 目の大括り化

4. 目標等

(1) 定量的な目標

目標期間：平成 17 年度～平成 24 年度

削減経費：年間 9.3 億円（試算値）

削減業務処理時間：年間延べ約 2 8 1 日分（試算値）

(2) 目標設定の考え方

- ・ 中核的 LAN システムにおいて、新たにデータセンターを活用し、インターネット回線を集約することで、インターネット利用に係る経費を年間約 0.2 億円削減。
- ・ 中核的 LAN システムに係るシステム運用の可用性向上に伴い、運用担当職員に係る業務処理時間を年間約 2,250 時間削減。

- ・ 最適化前のネットワーク規模を前提にした場合、回線の統合及び運用管理の統合化・集約化により、ネットワーク運用に係る経費を年間約 9.1 億円削減。

(3) 本事業における具体的な手段と目標の因果関係

1 中核的LANシステムの更改

中核的LANシステムについて、平成17年7月に更改し、業務の効率化や政策決定の迅速化・高度化を図り、さらに、システム運用の可用性の向上を実現する。

- (1) ネットワーク間の情報連携強化
- (2) OS（基本ソフト）の統一（セキュリティ対策等）
- (3) データ記録領域の集約化
- (4) データセンターの活用
- (5) 官民の責任分担を明確化した契約書の導入

この最適化により、運用等に職員が費やす年間約 2,250 時間の削減が見込まれる。

また、これまで個々に調達していたインターネット回線を含めて調達することにより、年間約 0.2 億円の経費削減が見込まれる。

2 最適化に向けた環境整備

平成17年度に、電子メール、電子掲示板等の共通サービス、通信手順や回線容量その他の回線の規格等を「共通サービス提供基準」として策定し、回線の一元的な運用管理を実現し、集約化を進める。

3 「共通見直し方針」の遵守

次に掲げる最適化を行うことにより、最適化が完了する平成24年度以降、年間約 9.1 億円の経費削減が見込まれる。

(ア-1) LAN回線の統合

厚生労働省の各種出先機関等を含めた全てのLAN回線を統合する。

(ア-2) WAN回線の統合

厚生労働省が保有するLAN間接続回線を対象として、原則、情報系NWと業務系NWの2系統に集約する。

(イ) 基本システムの統一

共通の業務を目的とするLANについては、積極的に基本サービス（電子メール、掲示板等）を統合化するとともに、運用管理業務の集中化を図る。

(ウ) 霞が関WAN及び総合行政ネットワークの活用

(4) 目標の達成度合いの判定方法・基準

達成度合い	目標達成率（実績値／目標値）	評価
A	100%以上	有効
B	90%以上100%未満	概ね有効
C	50%以上 90%未満	有効性の向上が必要
D	50%未満	有効性に問題有り

5. 評価指標等

指標と目標値(達成水準/達成時期)							
アウトカム指標			H19	H20	H21	H22	H23
1	削減経費（ネットワークの統合）（単位：千円）	目標	－	－	－	－	－
		実績	－	－	－	－	－
		達成度合い	－	－	－	－	－
2	削減経費（中核的LANシステムの更改）（単位：千円）	目標	22,800	22,800	22,800	22,800	22,800
		実績	22,800	22,800	▲206,805	▲283,349	－
		達成度合い	A	A	D	D	－
3	削減業務処理時間（単位：時間）	目標	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250
		実績	2,250	2,250	2,250	2,250	－
		達成度合い	A	A	A	A	－
【調査名・資料出所、備考等】 ・指標1及び2は、「最適化効果指標・サービス指標一覧（厚生労働省ネットワーク（共通システム））」（別添参照。）による。							

6. 評価

（1）総合的な評価（主に有効性及び効率性の観点から）

中核的LANシステムについては、システムの更改時（平成17年7月）に、これまで個々に調達していたインターネット回線を含めて調達を行うことにより、年間22,800千円の経費を削減、また、中核的LANシステムの更改により、運用担当職員に係る業務処理時間を年間2,250時間削減し、最適化計画の目標値を達成した。なお、平成22年度に引き続き、平成23年度においても新たなセキュリティ対策を講じる必要性が生じたことから、283,349千円の経費の増加となった。今後は、政府共通プラットフォーム等の動向を踏まえ最適化計画見直しの検討を行う。

WAN回線の統合については、平成20年4月から計画通り運用を開始し、各個別システムの段階的な統合についても予定通り完了した。

今後、これらのシステム及びネットワークが更改時期を迎えるため、安定的な運用を維持するとともに、円滑な移行を着実に実施するための取り組みが重要となる。

（2）予算執行の弾力化措置により得られた効果等

国庫債務負担行為の活用による複数年の一括契約により、同一事業者による継続的な開発・運用が可能となり、単年度で事業者が変更される場合と比較して、業務引継に要する期間の削減や契約に係る事務の簡素化が図られた。

(3) その他（上記の他、公平性、優先性等評価すべき視点があれば記載）

(4) 政策等への反映の方向性

中核的 LAN システムについては、平成 25 年度に更改時期を迎えることから、平成 23 年度は最適化計画の見直しの検討と次期中核的 LAN システムの更改に向けた仕様書（要件定義書）作成等を実施する。

WAN 回線については、平成 24 年度の更改に向けて、平成 23 年度は移行作業を実施する。

7. 特記事項

(1) 国会による決議等（総理答弁及び附帯決議等含む）の該当（有・無）

(2) 骨太の方針・各種計画等政府決定等の該当（有・無）

電子政府構築計画（平成 16 年 6 月 14 日一部改定各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議）

第 2 施策の基本方針

II IT 化に対応した業務改革

3 共通システムの最適化

共通システムの見直し方針に基づき、霞が関 WAN（電子文書交換システムを含む。）及び政府認証基盤については、行政情報システム関係課長連絡会議における検討を踏まえ、CIO 連絡会議の下、総務省が中心となって、2004 年度末（平成 16 年度末）までに、また、府省内ネットワークについては、各府省において、2005 年度末（平成 17 年度末）までのできる限り早期に、それぞれ最適化計画を策定し、システムの見直しを進める。

（掲載場所：IT 戦略本部ホームページ）

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/cio/dai9/9siryou2.pdf>

(3) 審議会の指摘（有・無）

(4) 研究会の有無（有・無）

(5) 総務省による行政評価・監視及び認定関連活動等の該当（有・無）

(6) 会計検査院による指摘（有・無）

(7) その他

最適化効果指標・サービス指標一覧
(厚生労働省ネットワーク(共通システム))

2011年(平成23年)8月25日

1 最適化効果指標

(1) 最適化共通効果指標

①削減経費(単位:千円)

全体	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	6年度目	7年度目	8年度目
	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
最適化実施前の経費(a)	6,800,300 (a')1,180,600							
最適化実施後の経費(試算値)(b)	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,157,800	5,867,800
削減経費(目標値)((a)-(b))	22,800 (a')-(b)	932,500						
最適化実施後の経費(実績値)(c)	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,387,405	1,463,949		
削減経費(実績値)((a)-(c))	22,800	22,800	22,800	22,800	▲206,805	▲283,349		

削減経費の内訳(最適化実施内容単位の効果指標(単位:千円))

ア. ネットワークの統合	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	6年度目	7年度目	8年度目
	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
最適化実施前の経費(a)	5,619,700	5,619,700	5,619,700	5,619,700	5,619,700	5,619,700	5,619,700	5,619,700
最適化実施後の経費(試算値)(b)	—	—	—	—	—	—	—	4,710,000
削減経費(目標値)((a)-(b))	—	—	—	—	—	—	—	909,700
最適化実施後の経費(実績値)(c)	—	—	—	—	—	—	—	
削減経費(実績値)((a)-(c))	—	—	—	—	—	—	—	

イ. 中核的LANシステムの更改	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	6年度目	7年度目	8年度目
	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
最適化実施前の経費(a)	1,180,600	1,180,600	1,180,600	1,180,600	1,180,600	1,180,600	1,180,600	1,180,600
最適化実施後の経費(試算値)(b)	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,157,800
削減経費(目標値)((a)-(b))	22,800	22,800	22,800	22,800	22,800	22,800	22,800	22,800
最適化実施後の経費(実績値)(c)	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,157,800	1,387,405	1,463,949		
削減経費(実績値)((a)-(c))	22,800	22,800	22,800	22,800	▲206,805	▲283,349		

②削減業務処理時間(単位:時間)

全体	2005年度	2012年度			
	最適化実施前の業務処理時間(a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値)(b)	削減業務処理時間(目標値)((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値)(c)	削減業務処理時間(実績値)((a)-(c))
時間	2,250	0	2,250		
金額換算(千円) (3,125円/時間)	7,031	0	7,031		